

＼1年生の不安を解決！／

看護学生 お助け ガイド

編集：『Clinical Study』編集室
協力：船橋市立看護専門学校

新1年生の皆さん、入学おめでとうございます！ 高校を卒業したばかりの人、社会人経験を経て入学された人、家庭をもちながら入学された人など、看護学校には様々な経歴をもつ人が集まります。それぞれの人が新しい生活への期待と不安を抱いていることでしょう。

本特集では、**看護学校入学から卒業までの流れ**を紹介するとともに、**学生生活を送るうえでのアドバイス**をお届けします！

また、2年以上続いているコロナ禍^かに対し、看護学校では学校生活や臨地実習に関して様々な対応を行い、乗り越えてきました。いろいろな学校が昨年度はどのように対応し、今年度はどのように対応していくのかも併せてご紹介します。

※本特集では3年課程の看護学校を想定して学年を記載しています。大学の場合は、1・2年生がほぼ本特集内での「1年生」、3年生が「2年生」、4年生が「3年生」に相当するとお考えください。

contents

- | | | | |
|--------------------|------|---------------------------|------|
| ● 看護学校で学ぶこと | p.67 | ● 1年生が押さえるべき3つのポイント | p.72 |
| ● 1年生のスケジュール | p.68 | ● 先輩からの学校生活アドバイス | p.73 |
| ● これからの授業・実習 | p.70 | | |



これからの授業・実習



2020年から世界的流行をみせている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）。皆さんの周囲でも様々な対策が行われてきたと思います。看護学校ではどのような対策がとられてきたか、昨年度の様子と今後の授業や実習の実施予定の一部をご紹介します（看護学校によって様々な対策がとられていますが、ここでは神奈川衛生学園専門学校、イムス横浜国際看護専門学校、宝塚大学看護学部（在宅看護論分野）、近森病院附属看護学校の4校の先生方にうかがいました）。

イムス横浜国際看護専門学校（協力：佐藤 真紀子先生）

■実践力を育てる授業・演習

早期からICT*教育を推進するための準備を始め、コロナ禍においてもグループワークや発表を取り入れた双方向性の授業展開を意識して取り組んできました。今年4月からは、「自学探究力」「状況判断能力」「客観的自己評価力」の3要素を備えた実践力ある看護師の育成を目指し、シミュレーション教育、ICT教育、国際看護教育を三本柱とした教育方法を取り入れたカリキュラムが本格始動します。また、“より深く学びたい”という学生の思いに応える看護研究サークルの活動も盛んです。

* information and communication technology の略。情報通信技術を指す

■環境に応じたリアリティある学習

入学後は、早期から臨地実習が始まります。看護の道を選んだ学生が覚悟を新たにするとともに、本格的な学びへと進む過程で、学習の必要性をおのずかを感じ取れる体験を目指しています。そして、校内での学びが臨地実習に生かされたという体験により、さらに学習や実習への意欲が引き出されるという“仕掛け”が随所に組み込まれています。

最新機器の導入によりシミュレーション教育の環境を整え、校内実習や臨地実習などどのような環境下にあっても、常にリアリティある教育を追求しつづけています。